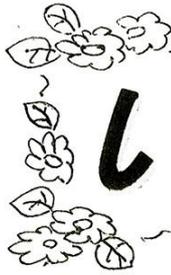


さいきょうい しんぶん かぞく ひと いっしょ よ くだ
* 堺教会 CS 新聞「いずみのひろば」は家族の人と一緒に読んで下さい。



いずみのひろば

2018年8月号
日本基督教団堺教会
No.477 教会学校

「ゆるされることの多い人は、愛することも多い」



ある村に、とってもわるいことを、たくさんしてきた女の人がいました。

この人は、イエスさまがシモンさんの家を知って、イエスさまに会いに行こう、と思いました。

じつは、シモンさん、この女の人が大キライ！

自分のことをきらっている人のお家に行くのはいやだよな？



でも、この女の人はどうしても、イエスさまに会いたかったんです。

きっと、今までしてきたわるいことを、ぜんぶ、あやまろう、と思ったんでしょう。

シモンさんの家でイエスさまを見つけて、近づいて、その足にふれたとき、目から涙がこぼれました。

ごめんなさい、という思いがあふれて、あふれて、涙がイエスさまの足におちました。

女の方は、ながした涙で、イエスさまの足をあらって、かみの毛で、よごれをふきました。

イエスさまは、とってもうれしくて、“あなたがしたわるいことは、ぜんぶゆるされたよ”と言われました。

さて、このふたりのようすを見ていた、シモンさんは、ちょっといやな気分になっていました。

そんなシモンさんに、イエスさまは言われました。

“この人は、たくさんゆるされた。ゆるされることの少ない人は、愛することも少ない”

あれ？ ちょっと、つめたい言葉ですね。ゆるされることの少ない人 って？

イエスさまは、すべての人のために十字架にかかったのだから、ほんとうの意味は、

“あなたも、たくさんゆるされている。そのことに気づいて、感謝する人になりなさい” ってことです。

わたしも、イエスさまに、たくさんゆるされています。今日も、あしたも、あさっても。

まいにち、イエスさまに、感謝する気持ちを忘れないでいて、

この女の人のように、イエスさまを、たくさん愛せる人になりたいですね。



(おはなし 小林素子先生)